

杉森会長 記者会見 発言要旨
(2021年6月16日)

1. コロナ禍での石油製品の安定供給を確保

変異株の動向など、新型コロナウイルス感染状況は引き続き予断を許さない。「職域接種」などによる、早期の感染収束を期待。

石油業界は、引き続き感染拡大防止策を徹底し、国民生活に必要な石油製品の安定供給に万全を期していく。

2. 石油業界はカーボンニュートラル実現に向け果敢に取り組む

経団連が昨日とりまとめた「グリーン成長の実現に向けた緊急提言」にあるように、経済と環境の好循環を創出しながら、2050年カーボンニュートラルを目指すためには、経済界の主体的取り組みの強力な推進が最重要。

石油業界も、合成燃料をはじめとした革新的技術開発への積極的チャレンジで、カーボンニュートラル実現に貢献したい。

3. グリーン成長実現のため欧米同様の税財政支援を政府に期待

G7首脳会合共同宣言で、遅くとも2050年までにネットゼロ目標を達成するために努力することが確認された。

わが国も欧米と同様、気候変動対策を国家戦略の重要な柱に位置付け、企業の挑戦に税財政支援などの政策リソースを総動員し、官民一体でグリーン成長を実現していくことが重要。

4. 令和4年度税制改正要望に理解と支援を

本日、石油連盟は、炭素税などを含む「石油諸税の更なる増税の反対」のほか、自動車用燃料・エネルギーに対する「課税の公平性確保」等を内容とする来年度税制改正要望をとりまとめた。

皆様のご理解とご支援をお願いしたい。

5. 原油価格は向こう1か月70ドル台で推移

米国や欧州等では経済正常化に向かう中、石油需要は回復基調。イラン原油の不透明性もあり、ドバイ原油は5月後半の60ドル/バレル台後半から上昇、6月15日時点で71.8ドルとなった。

次回OPECプラス会合の協調減産方針、イラン核合意再建を巡る協議、コロナ禍からの世界経済および石油需要の回復、以上3点を注目したい。

ドバイ原油は向こう1か月70ドル台で推移と予想。

以上